

クロピドグレル錠 「SANIK」を 服用されている方へ



監修：東海大学医学部 内科学系（循環器内科）

教授 後藤 信哉

はじめに

この小冊子は、クロピドグレル錠「SANIK」を服用されている方にお薬の正しい知識を得ていただく目的で作成しました。

また、この小冊子の内容は、お薬を服用されている方ご自身だけではなく、ご家族の方にも知っておいていただきたい内容です。治療の内容をご家族や周りの方にも知らせておき、日ごろから協力を得られるようにしておきましょう。

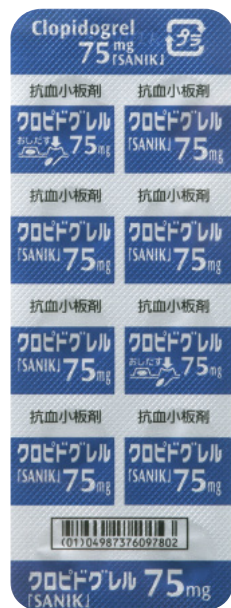
クロピドグレル錠「SANIK」の剤型



クロピドグレル錠
25mg「SANIK」



クロピドグレル錠
75mg「SANIK」

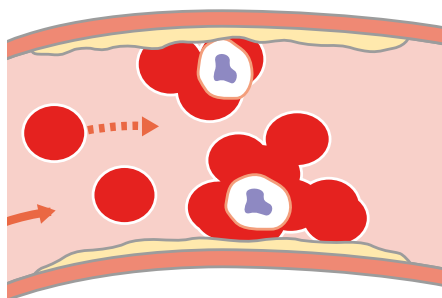


目次

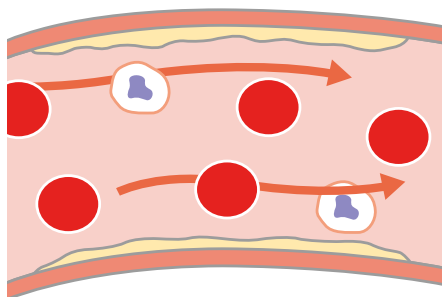
- Q.クロピドグレル錠「SANIK」は
どんなお薬ですか？…………… ①
- Q.クロピドグレル錠「SANIK」を飲み始めるにあたって、
注意が必要なことはありますか？…………… ③
- Q.クロピドグレル錠「SANIK」を服用中に、日常生活で
気を付けなければいけない点はありますか？…………… ④
- Q.クロピドグレル錠「SANIK」の
服用量と服用期間に目安はありますか？…………… ⑤
- Q.クロピドグレル錠「SANIK」を
飲み忘れた場合の対処方法を教えてください。…………… ⑦
- Q.クロピドグレル錠「SANIK」を服用中に他の病院・
診療科を受診する場合、注意することはありますか？…………… ⑦
- Q.クロピドグレル錠「SANIK」を服用中に、
手術などの出血を伴う治療を受ける場合
どうしたらいいのでしょうか？…………… ⑧
- Q.クロピドグレル錠「SANIK」を服用中に、
注意が必要な副作用はありますか？…………… ⑨
- Q.病気の再発防止の為に、気を付けなければ
いけないことがあれば教えてください。…………… ⑩

クロピドグレル錠「SANIK」は どんなお薬ですか？

クロピドグレル錠「SANIK」は、血管の中で血栓（血のかたまり）
ができやすくなっている状態を改善し、血液の流れをスムーズに
するお薬です。



クロピドグレル錠「SANIK」を
服用しないと、血のかたまり(血栓)
ができやすい。



クロピドグレル錠「SANIK」を
服用することで血栓をできにく
くする。

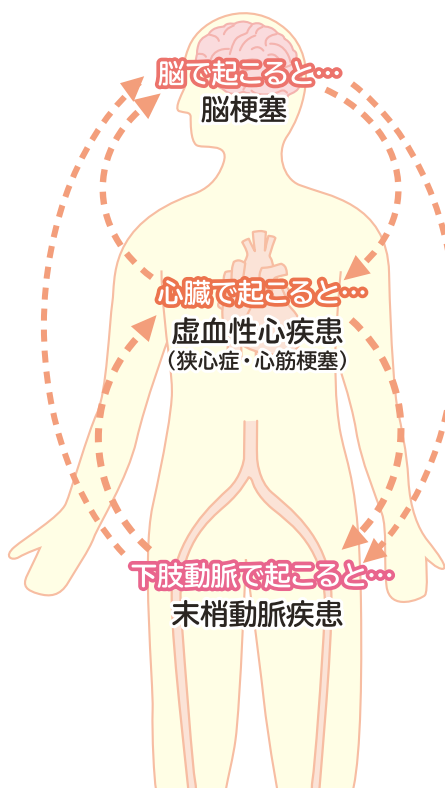
いったん脳の病気（脳梗塞）を起こした方や、心臓の病気（心筋梗塞）でステント留置治療を受けた方では、他の部位の血管にも血栓ができる可能性が高いため注意が必要です。

クロピドグレル錠「SANIK」は、血液を固まりにくくして、脳梗塞や心筋梗塞の再発を予防するとともに、血栓ができやすくなった血管に血栓をできにくくするお薬です。

アテローム血栓症

一度脳梗塞や虚血性心疾患をおこした方や末梢動脈疾患と診断された方の血管は、血栓ができやすい状態にあり、このような病気をアテローム血栓症といいます。

アテローム血栓症は全身の血管の病気です。血栓症（たとえば脳梗塞）を起こした方は、他の部位の血管（たとえば、心筋梗塞や末梢動脈疾患）についても注意が必要です。



クロピドグレル錠「SANIK」を 飲み始めるにあたって、 注意が必要なことはありますか？

A 血液障害や肝障害が、主に飲み始めの2カ月以内に起こることがあります。そのため、飲み始めの2カ月間に定期的な血液検査などが行われることがあります。

飲み始めに起こることがある副作用

●**血液障害**：血液の機能が障害されることによって起こる副作用です。発熱、あおあざができる、鼻や歯ぐきからの出血、尿量の減少、うとうとする、突然の高熱、さむけ、のどの痛みなどの症状が起こることがあります。

●**肝障害**：肝臓の機能が障害される副作用です。からだがだるい、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる、吐き気・嘔吐、かゆみなどの症状が起こることがあります。

上記のような症状に気が付いたら、
ただちに医師または薬剤師に相談し、
指示に従ってください。



クロピドグレル錠「SANIK」を服用中に、日常生活で気を付けなければいけない点がありますか？

クロピドグレル錠「SANIK」の服用中は、通常より出血しやすく、出血した場合には血が止まりにくくなります。日常生活では、出血に注意してください。

出血を避ける為に

怪我をするおそれのある高い場所での作業は慎重に行いましょう



柔らかい歯ブラシを使いましょう



鬚剃りは電気シェーバーを使いましょう



転倒に注意しましょう（階段の上り下りに手すりを使うなど）



Q クロピドグレル錠「SANIK」の 服用量と服用期間に 目安はありますか？

A クロピドグレル錠「SANIK」の服用量と服用期間は、患者さんの状態などに応じて、適切な服用量と治療期間を医師が決めます。自己判断でお薬の量を調節したり、服用回数を減らしたりしないようにし、必ず医師の指示に従って服用してください。

**自己判断で
服用を止める**

**自己判断で
回数を減らす**

**必ず医師の
指示に従って
服用する。**



心臓の病気（虚血性心疾患）でステント留置治療を受けた方は、通常、クロピドグレル錠とアスピリンというお薬の併用療法を行います。この併用療法の期間は、使用されているステントの種類により推奨される期間が異なります。

心臓の病気（虚血性心疾患）でステント留置治療を受けた方は、**必ずステントに関する説明を医師から受けてください。**

推奨されている クロピドグレル錠とアスピリンの併用療法の期間

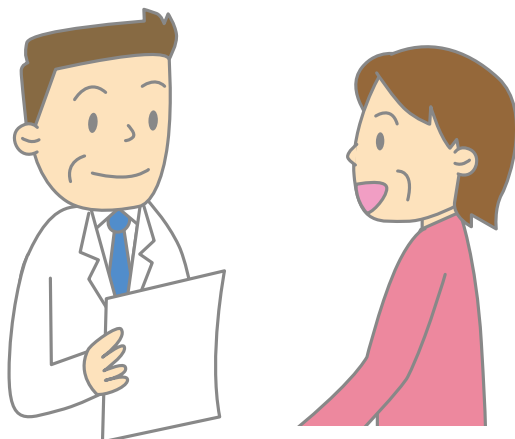
- **金属のステント**

1ヵ月以上

- **薬剤溶出ステント** (注)

ステントの種類によりまちまちなので個別に医師に相談

注：薬剤溶出ステントとはステントの表面に薬剤が塗られていて、その薬剤が徐々に放出されるステントです。近年はこのステントを使う方が多くなっています。



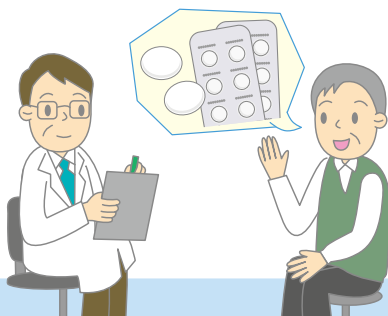
クロピドグレル錠「SANIK」を飲み忘れた場合の対処方法を教えてください。

飲み忘れた場合は、気づいた時に1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合には1回分の服用をお休みして、次の服用時間から通常の1回分を服用してください。絶対に、2回分を一度に服用しないようにしてください。



クロピドグレル錠「SANIK」を服用中に他の病院・診療科を受診する場合、注意することはありますか？

他のお薬との飲み合わせにより作用の強さが変わることがあります。他の病院・診療科を受診する場合は、このお薬を飲んでいることをその病院・診療科の医師に伝えるようにしてください。



Q クロピドグレル錠「SANIK」を服用中に、手術などの出血を伴う治療を受ける場合どうしたらいいのでしょうか？

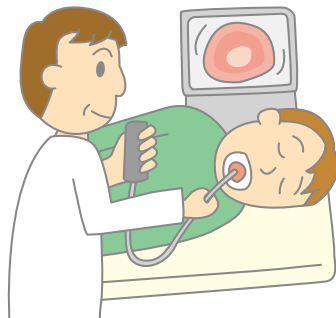
A 下記のような治療を受ける場合は、14日以上のお薬が勧められています。しかし、お薬が必要な期間は患者様によって異なりますので、必ずクロピドグレル錠「SANIK」を処方してもらっている医師に連絡をし、指示に従うようにしてください。

クロピドグレル錠「SANIK」のお薬が勧められるケース

手術を受けるとき



内視鏡検査、内視鏡治療などを受ける場合



クロピドグレル錠「SANIK」を服用中に、注意が必要な副作用はありますか？

クロピドグレル錠「SANIK」を服用している間に、以下のような症状に気が付いたら、ただちに医師または、薬剤師に相談し、指示に従ってください。

突然の頭痛・めまい



うとうとしたり、意識がうすれる



あおざがでる、皮下出血



鼻血、歯ぐきからの出血



皮膚が黄色くなる



白目が黄色くなる



からだのだるい



吐き気、嘔吐



発熱や悪寒、のどの痛み



食欲不振



かゆみ、発疹



尿の色が濃くなる



これらの症状以外にも、気になることがあれば、医師または、薬剤師に相談してください。



病気の再発防止の為に、 気を付けなければいけないこと があれば教えてください。

病気の再発防止の為に、生活習慣の見直しを行いましょう。
特に、高血圧や高脂血症などの基礎疾患を持っている人にとって生活習慣の改善は非常に重要です。

病気の再発を予防するために 生活習慣で注意が必要な事項

- 健康な体重の維持
- 禁煙
- コレステロールのコントロール
- 糖尿病のコントロール
- 適度な運動
- 健康的な食事
- ストレスを管理

